



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

# 滋賀県 景況調査結果報告書

## 2020年度第2四半期 (2020年7～9月)

### 目次

I.調査結果.....	2
II.今期の状況.....	3
III.規模別・業種別.....	9
IV.回答企業のコメント.....	23
V.追加調査結果.....	24

滋賀県商工観光労働部商工政策課

# I. 調査結果



## 【調査概要】

滋賀県では、四半期毎に県内の景気動向の把握を目的として景況調査を実施しております。今期(2020年7～9月期)の調査結果の概要は次のとおりです。

また、滋賀県景況調査報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

- ・今期の県内企業の景況は、業況、生産、売上、経常利益の各DIはマイナス幅が縮小した。雇用の水準DIはプラスからマイナスへ転じ、不足感が強まった。
- ・来期(2020年10～12月期)の見通しについては、業況、生産、売上、経常利益の各DIはマイナス幅が縮小する見通し。雇用の水準DIは変わらない見通し。

## 【調査方法】

- ①調査期間……………2020年8月
- ②調査企業数……………県内の事業所(750社)
- ③調査方法……………郵送アンケート
- ④回答企業数……………265社(回答率35.3%)

(社)

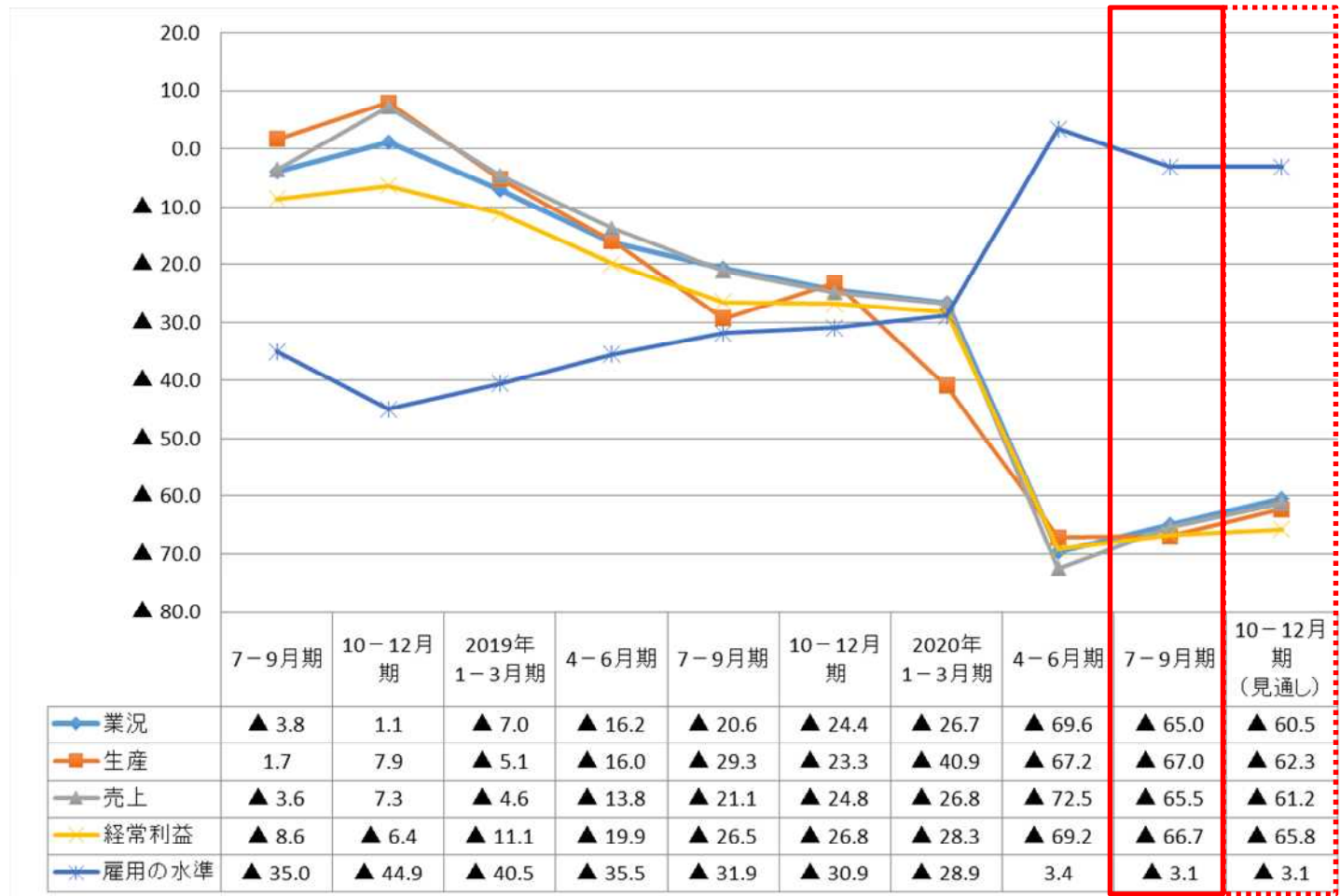
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	17	3	0	6	7	33
中小企業	101	18	13	22	78	232
合計	118	21	13	28	85	265
産業別比率	44.5%	7.9%	4.9%	10.6%	32.1%	

※本調査でのDI(ディフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値。

今期(実績)の業況、生産、売上、経常利益、在庫数量の各DIは前年同期と比較。資金繰りDIは3か月前と比較。採算の水準、引合、雇用の水準の各DIは今期水準の軸を用いて算出。

来期の見通しについては、業況、生産、売上、経常利益、在庫数量の各DIは3か月後の前年同期と比較。資金繰りDIは3か月後水準の軸を用いて算出。採算の水準、引合、雇用の水準DIは3か月後水準の軸を用いて算出。

## Ⅱ.各種DIの動き(実績)と来期の見通し



今期(2020年7~9月期)の県内企業の景況(前期(2020年4~6月期)との比較)

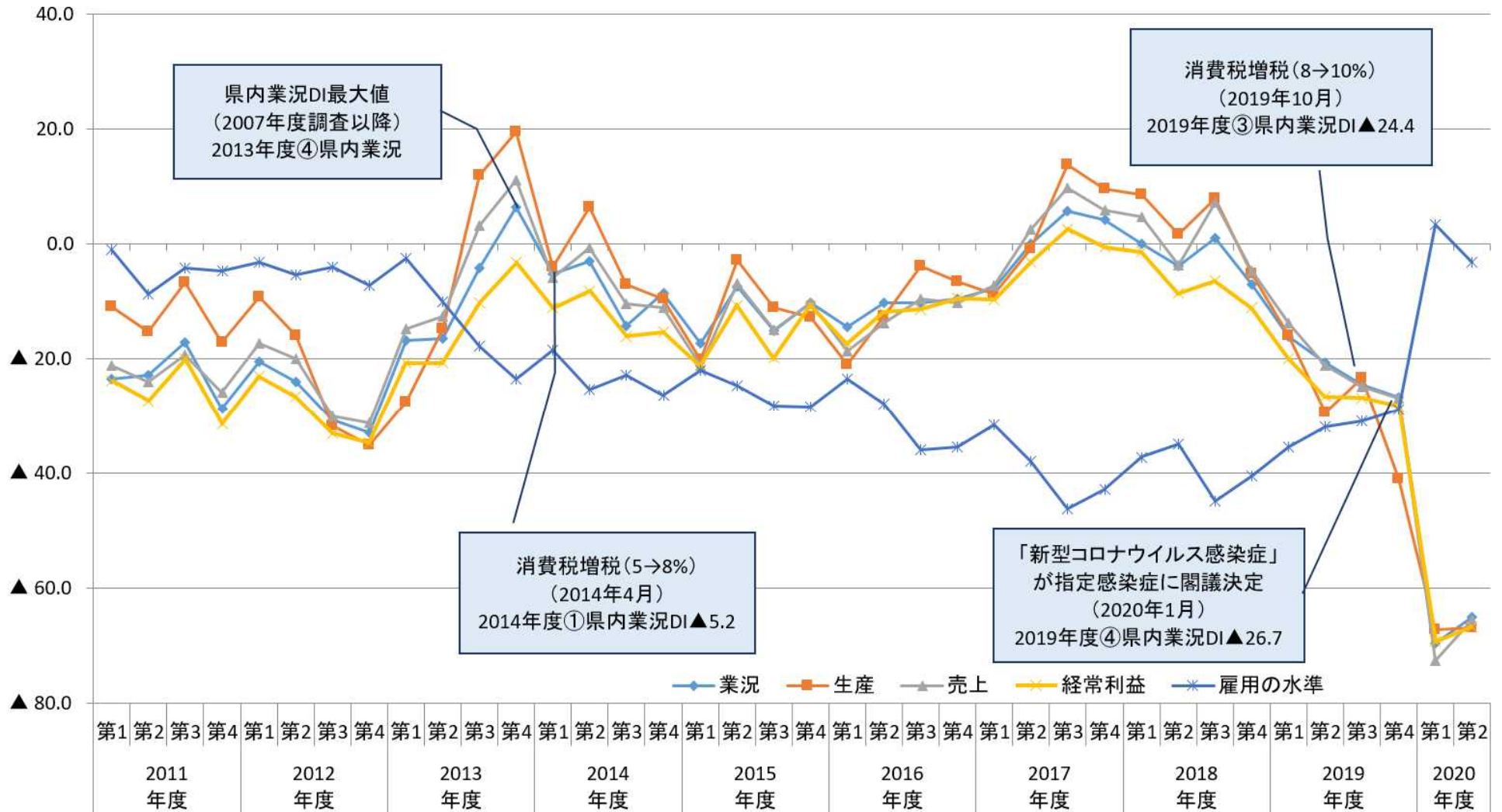
- ・業況、生産、売上、経常利益の各DI: マイナス幅が縮小した。
- ・雇用の水準DI: プラスからマイナスへ転じ、不足感が強まった。

来期(2020年10~12月期)の見通し

- ・業況、生産、売上、経常利益の各DI: マイナス幅が縮小する見通し。
- ・雇用の水準DI: 変わらない見通し。

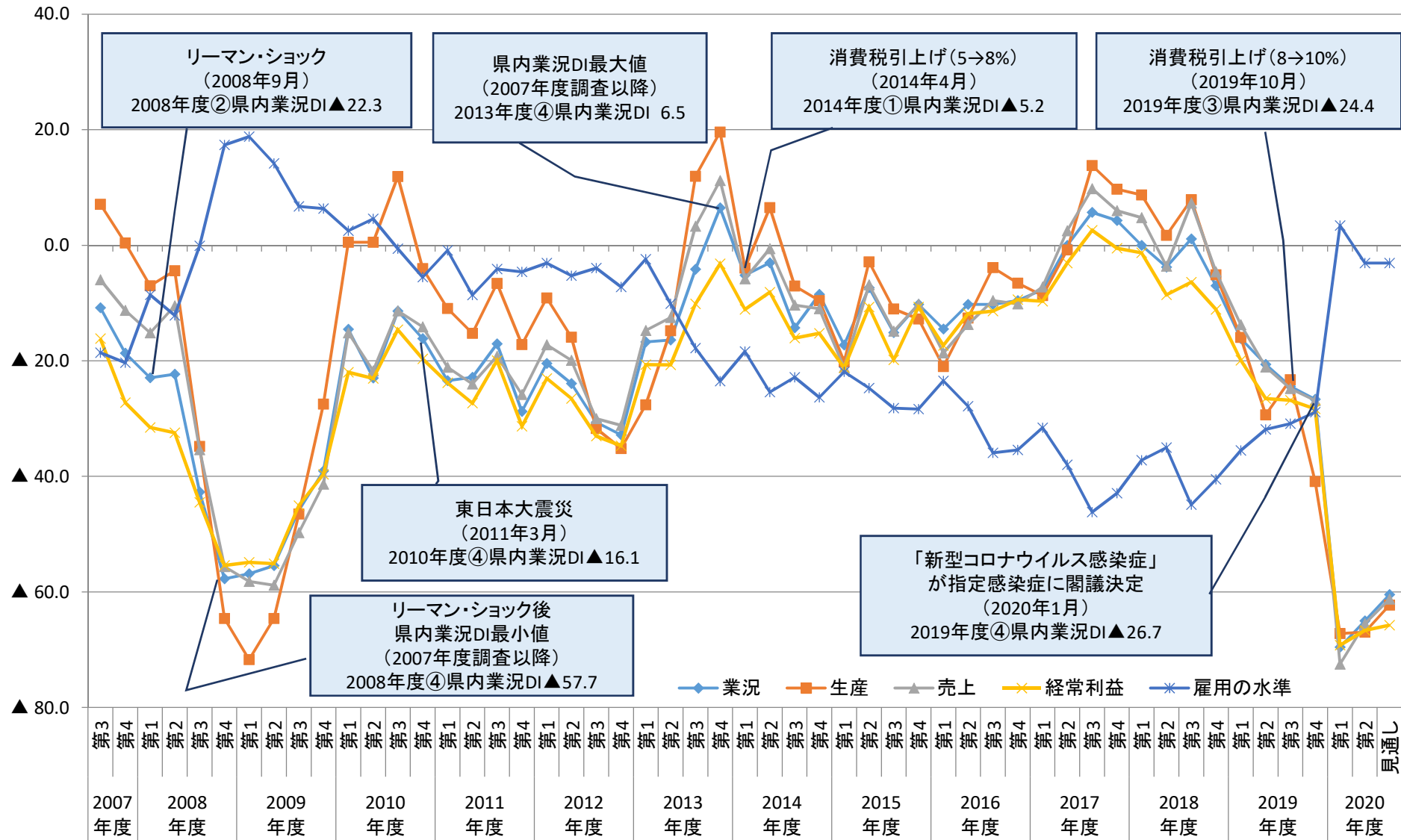
## Ⅱ .DIの推移: 過去10年分

(2011年度第1四半期～2020年度第2四半期)

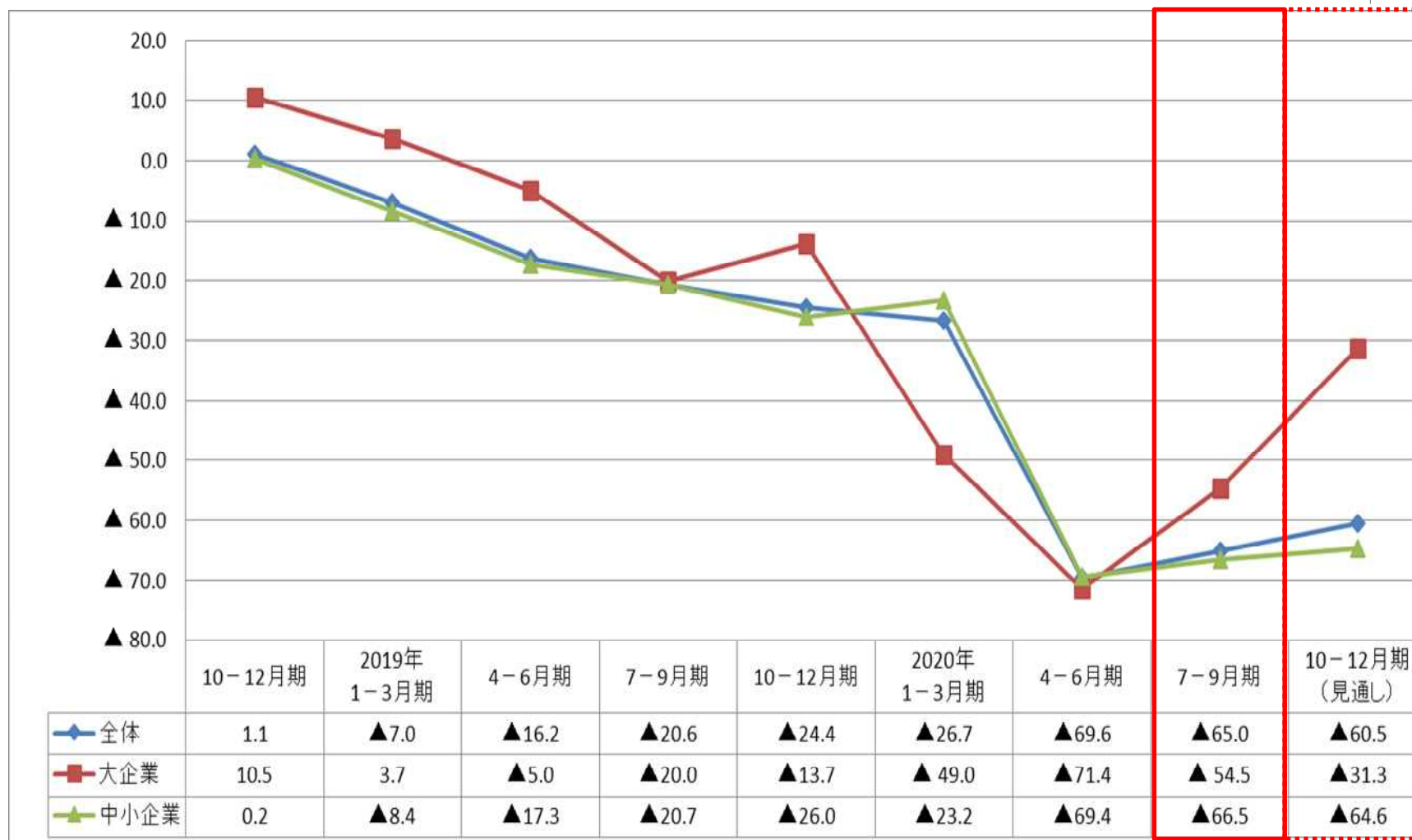


# 【参考】

## Ⅱ .DIの推移: 2007年度第3四半期～2020年度第2四半期



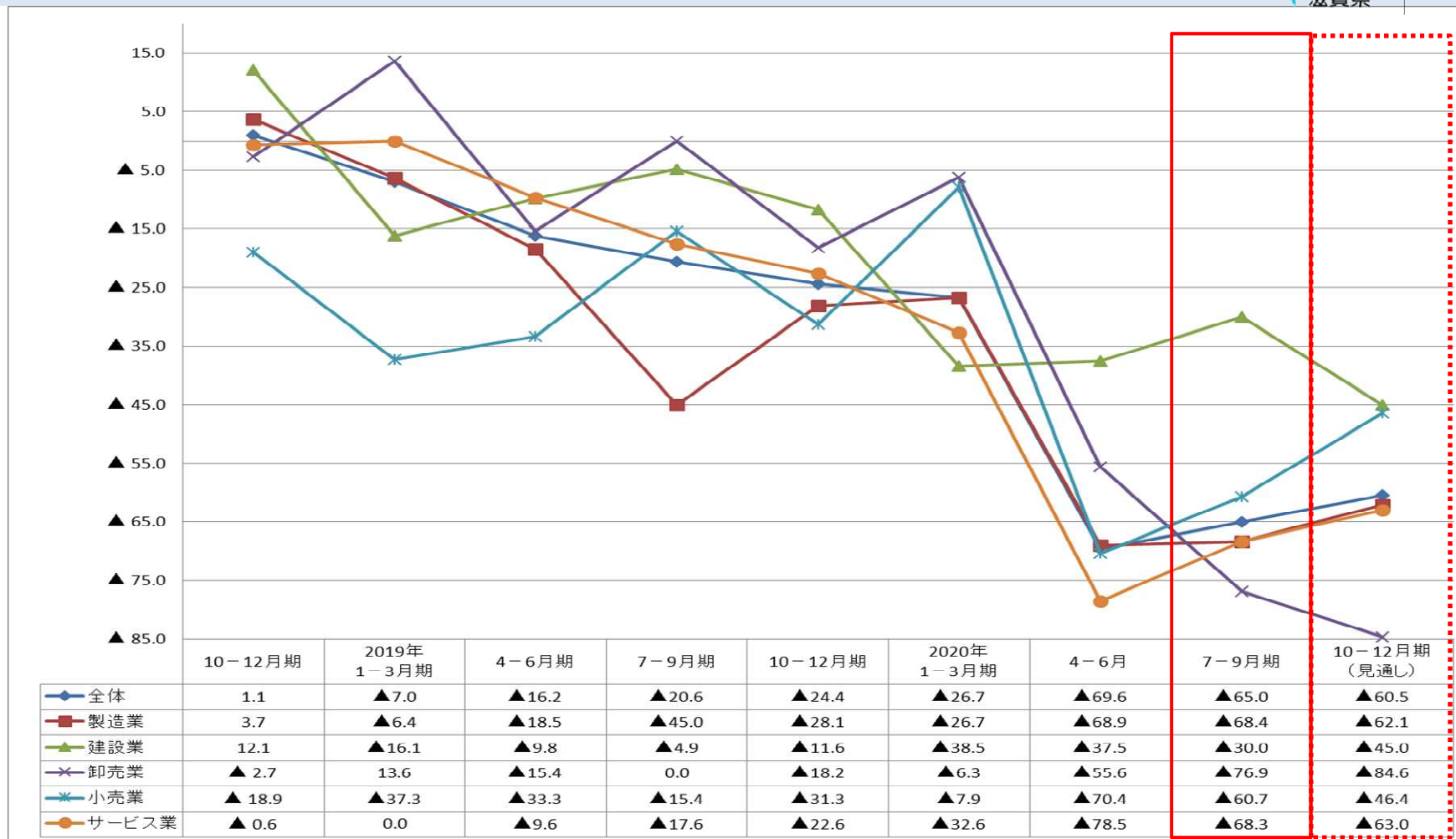
## Ⅱ. 企業規模別業況の動き(実績)と来期の見通し



- ・全体の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・大企業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・中小企業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

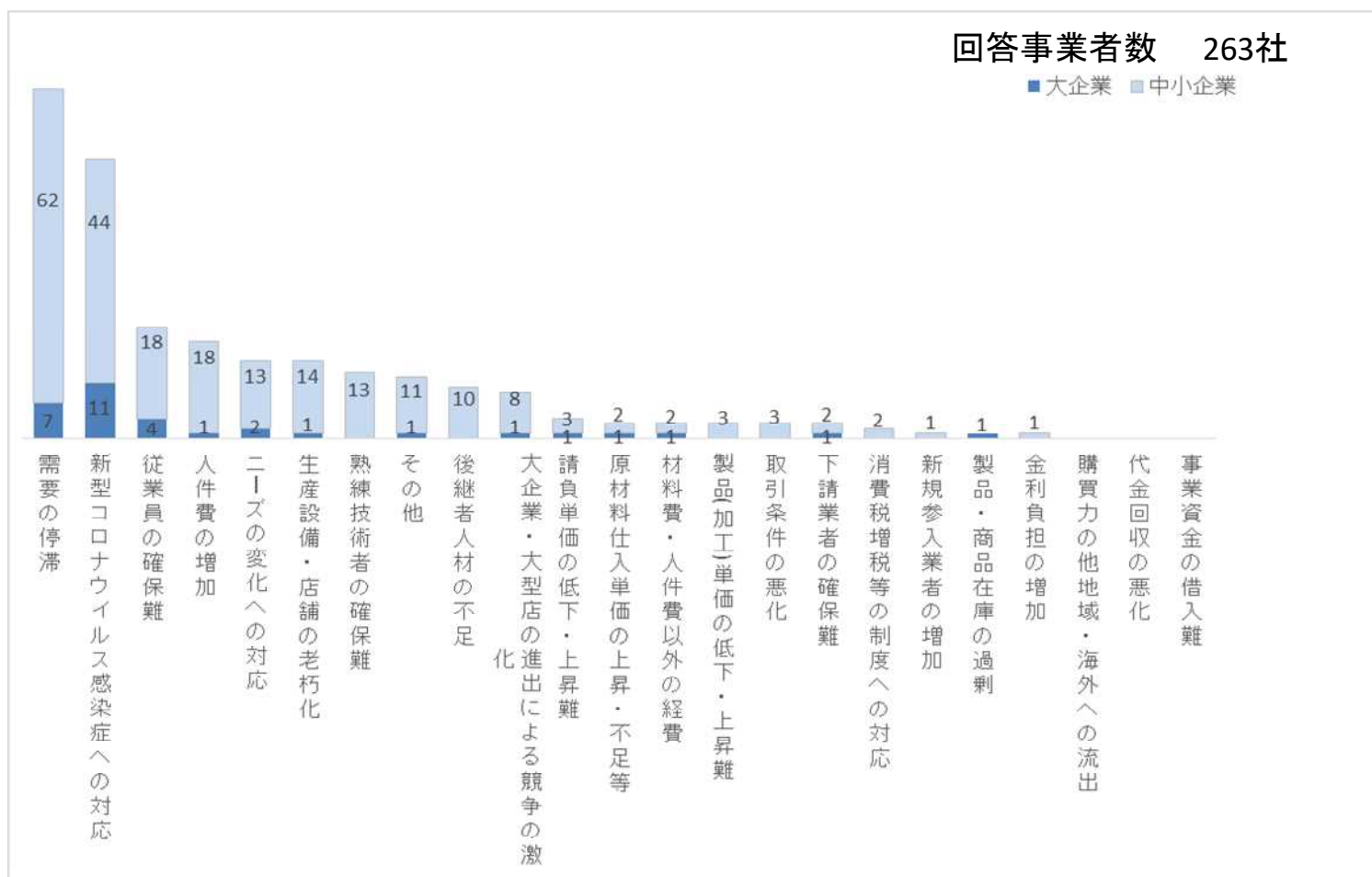


## Ⅱ.業種別業況の動き(実績)と来期の見通し



- ・製造業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・建設業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・卸売業の業況DIは前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・小売業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・サービス業の業況DIは前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

## Ⅱ.経営上の問題点

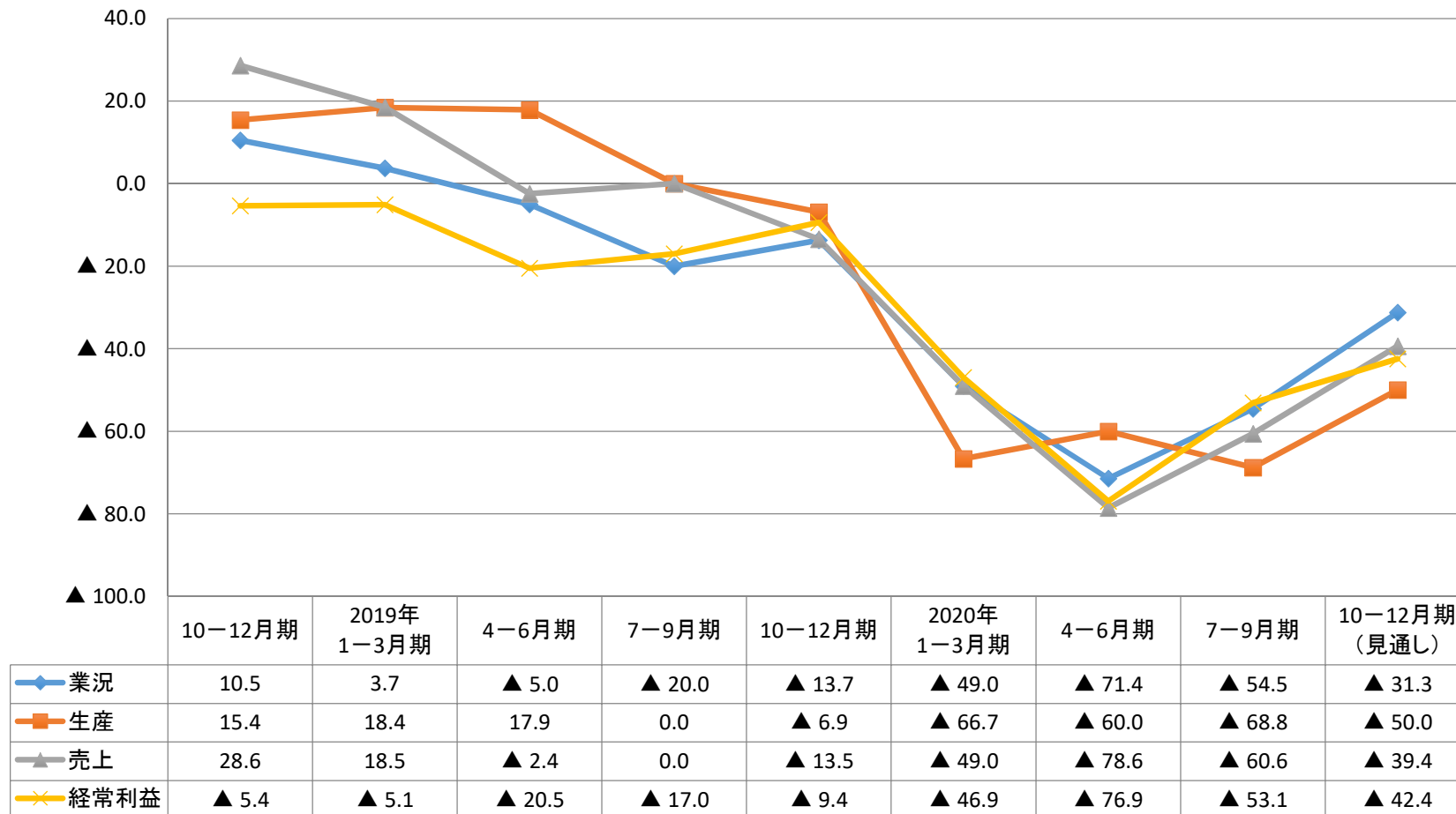


- ・全体:「需要の停滞」が最多となっており、「新型コロナウイルス感染症への対応」「従業員の確保難」の順となっている。
- ・大企業:「新型コロナウイルス感染症への対応」が最多となっており、「需要の停滞」「従業員の確保難」の順となっている。
- ・中小企業:「需要の停滞」が最多となっており、「新型コロナウイルス感染症への対応」「従業員の確保難」「人件費の増加」の順となっている。



## Ⅲ.【大企業】①

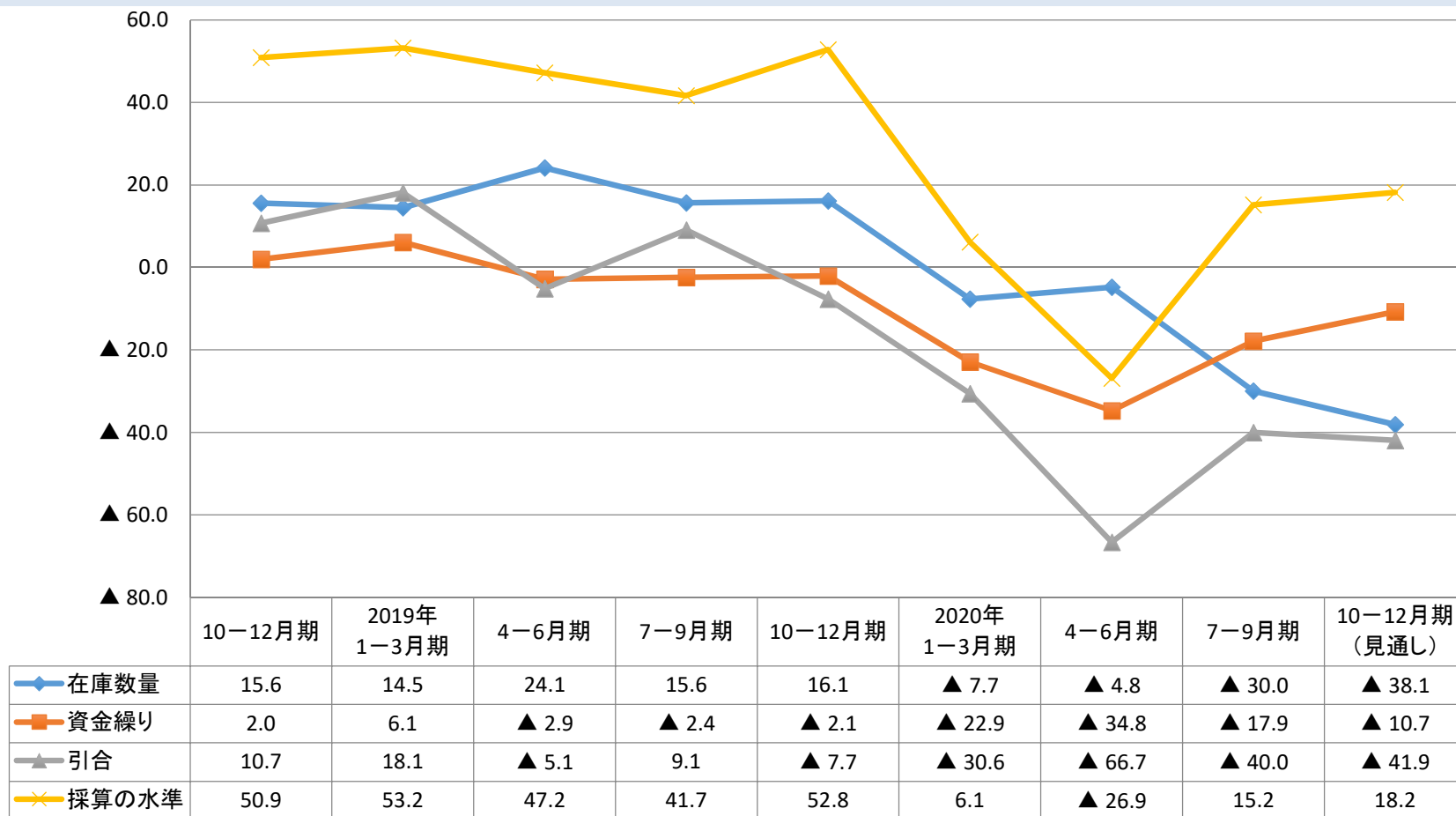
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲54.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲31.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・生産DIは▲68.8と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲50.0と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲60.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲39.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲53.1と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲42.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【大企業】②

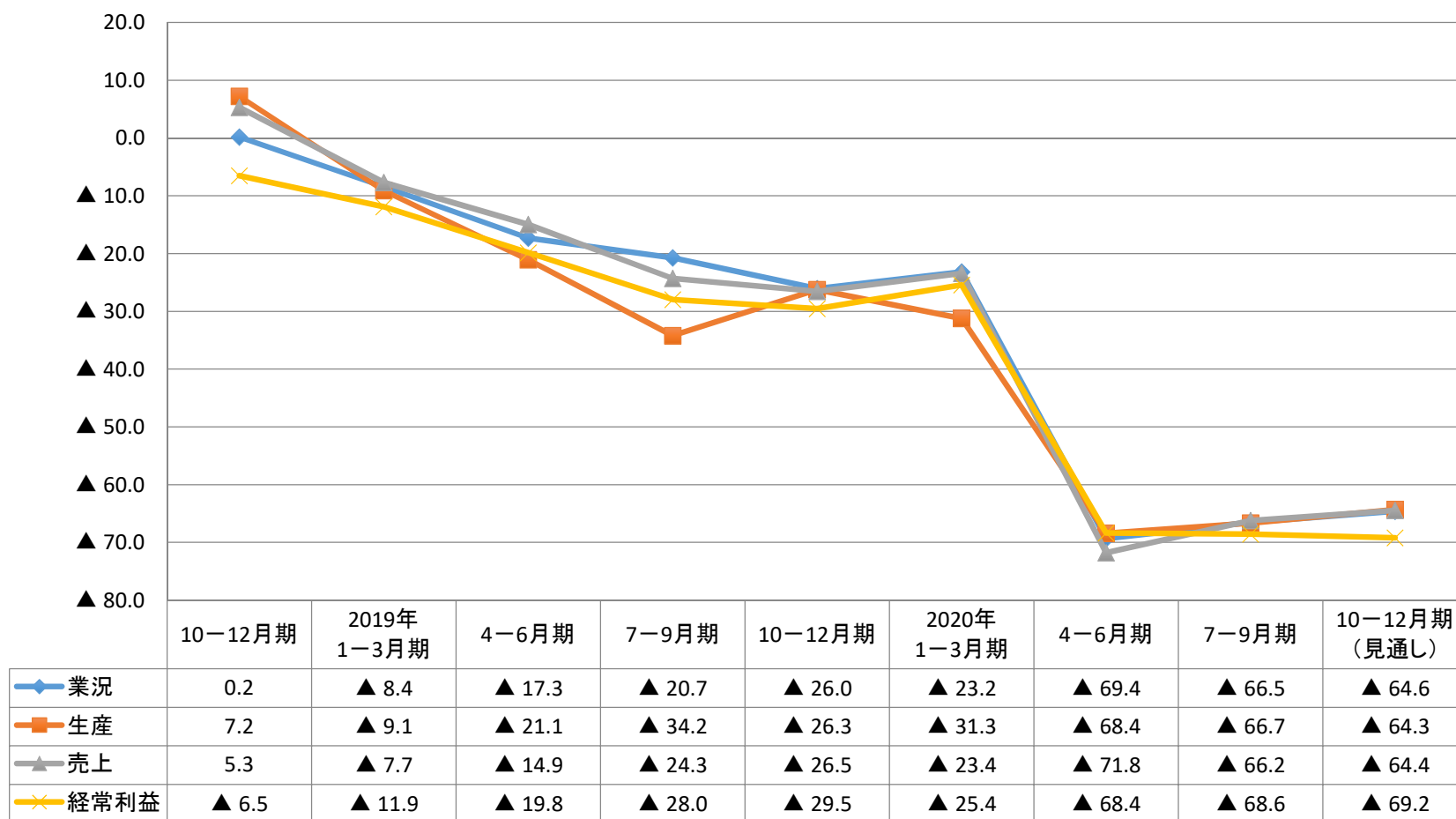
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲30.0と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲38.1と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲17.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲10.7と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・引合DIは▲40.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲41.9と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは15.2と、前期に比べマイナスからプラスへ転じた。来期は18.2と、今期に比べプラス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【中小企業】①

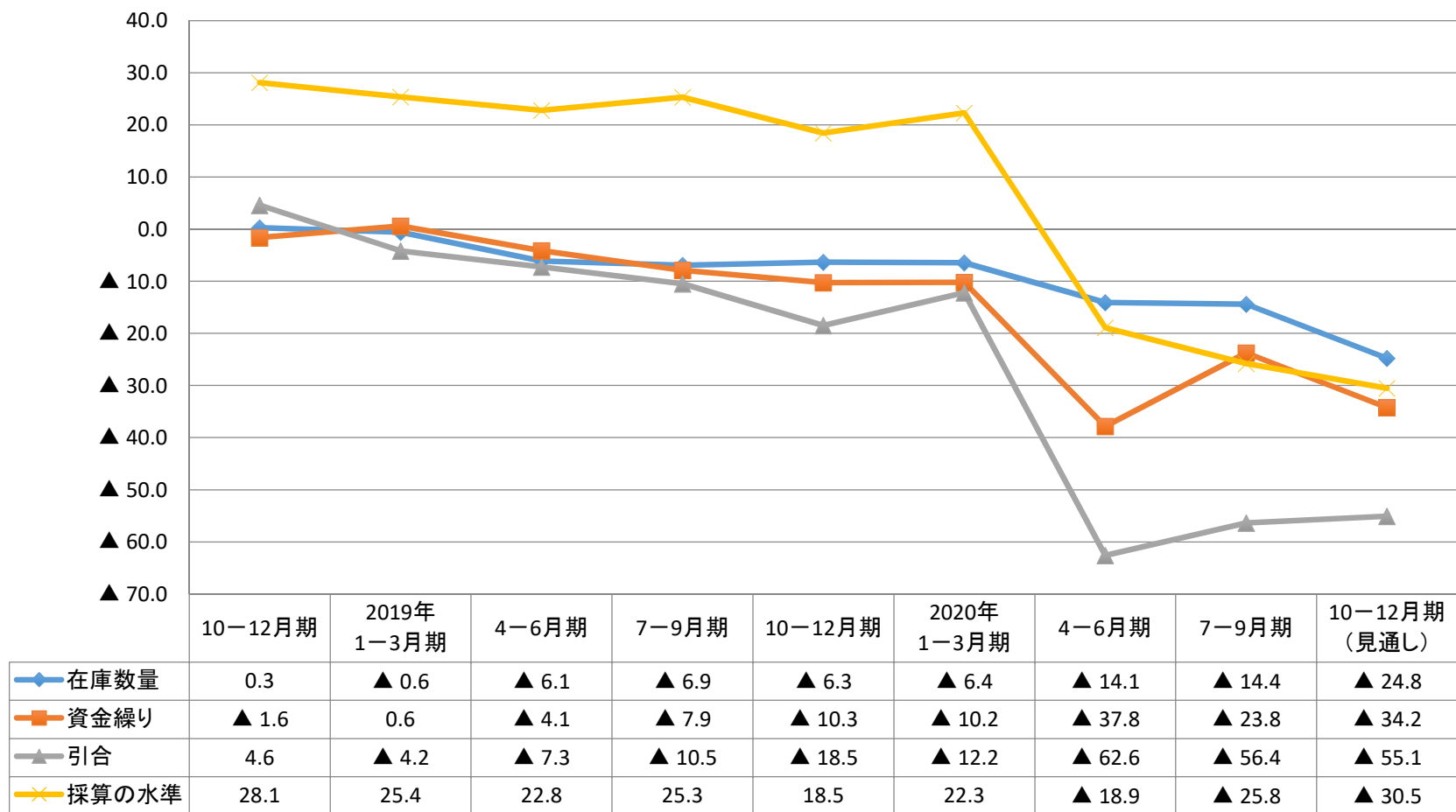
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲66.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲64.6と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・生産DIは▲66.7と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲64.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲66.2と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲64.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲68.6と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲69.2と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【中小企業】②

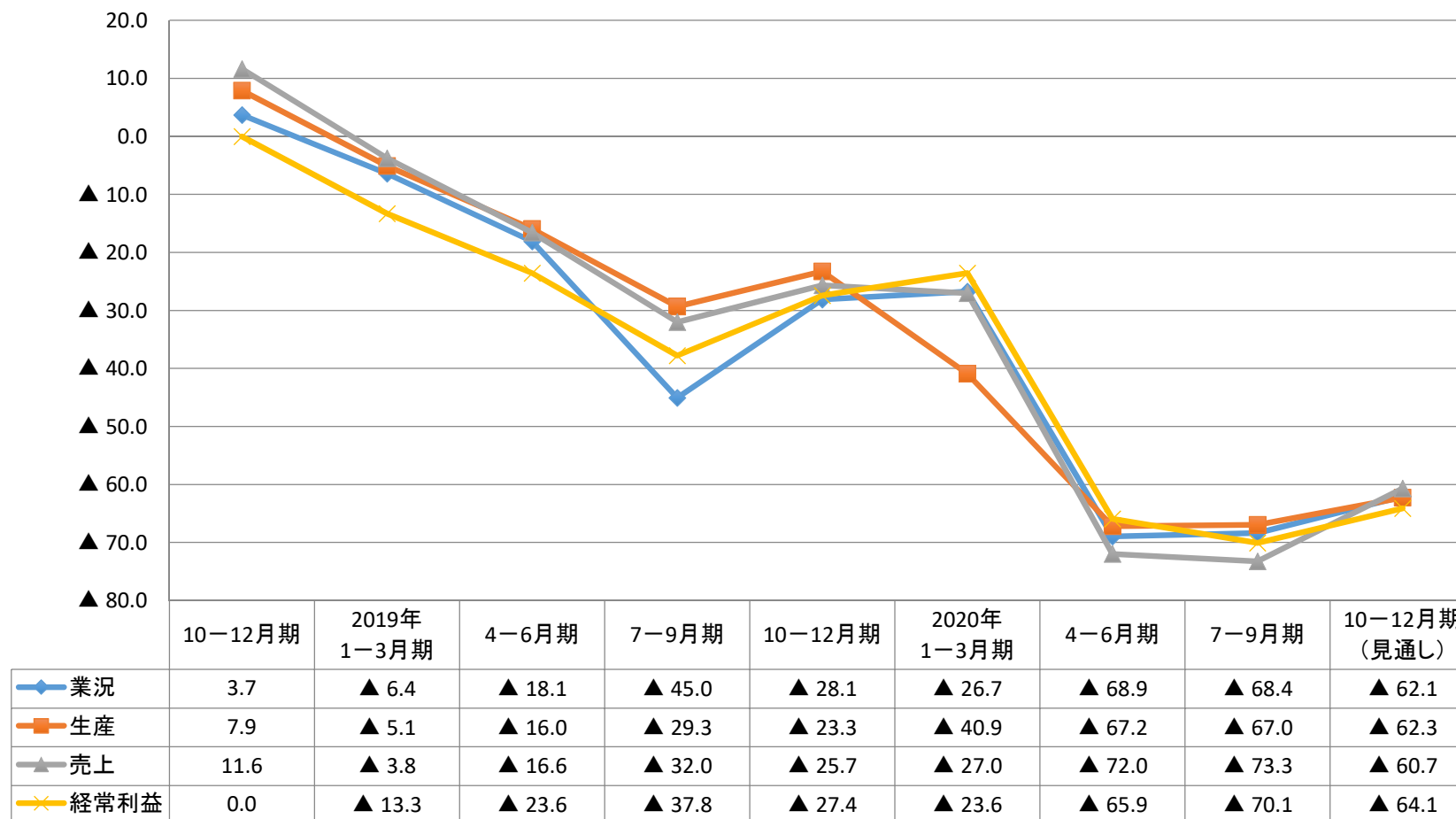
### 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲14.4と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲24.8と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲23.8と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲34.2と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲56.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲55.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・採算の水準DIは▲25.8と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲30.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【製造業】①

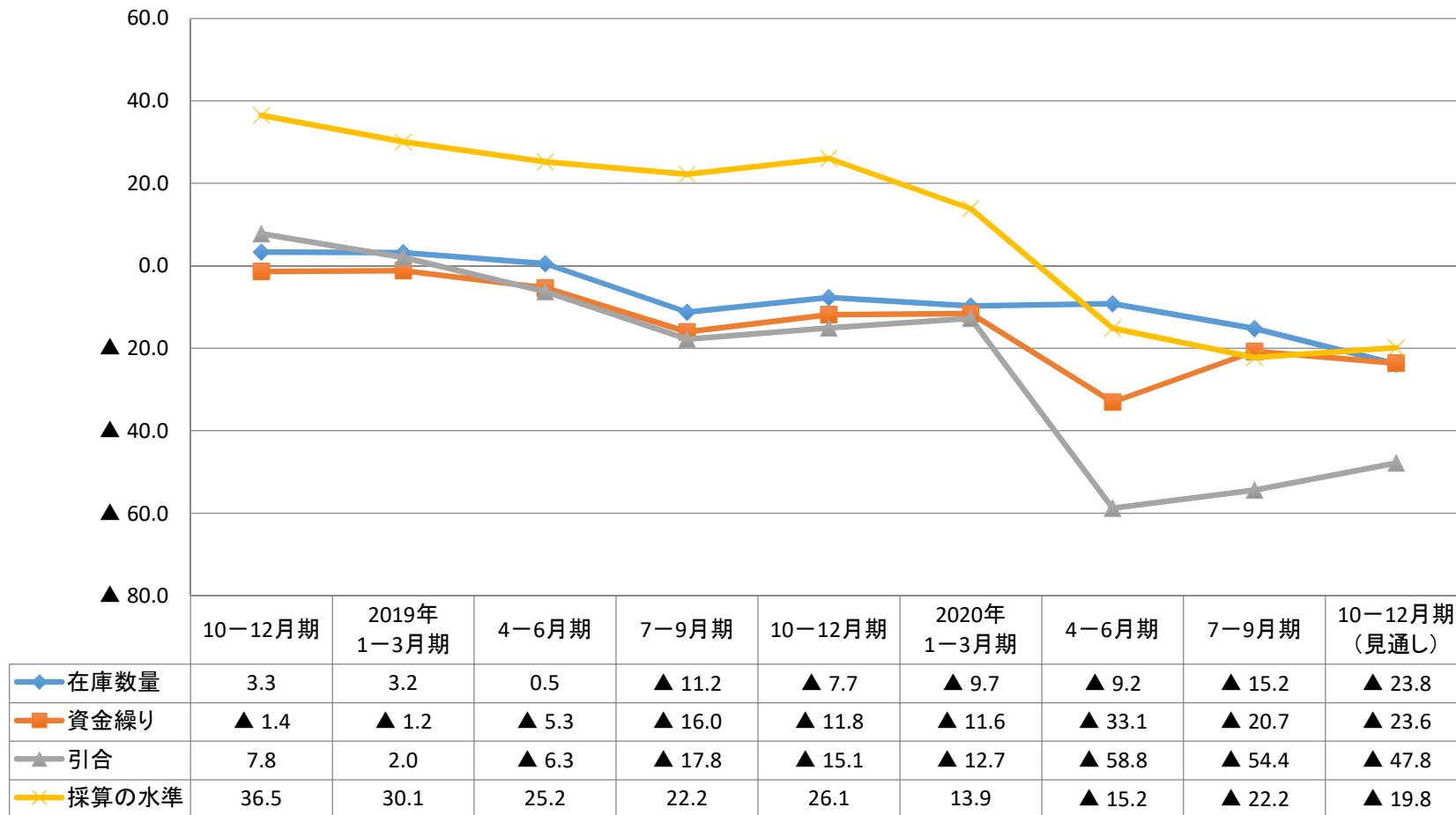
### 業況・生産・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲68.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲62.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・生産DIは▲67.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲62.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲73.3と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲60.7と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲70.1と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲64.1と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【製造業】②

## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し

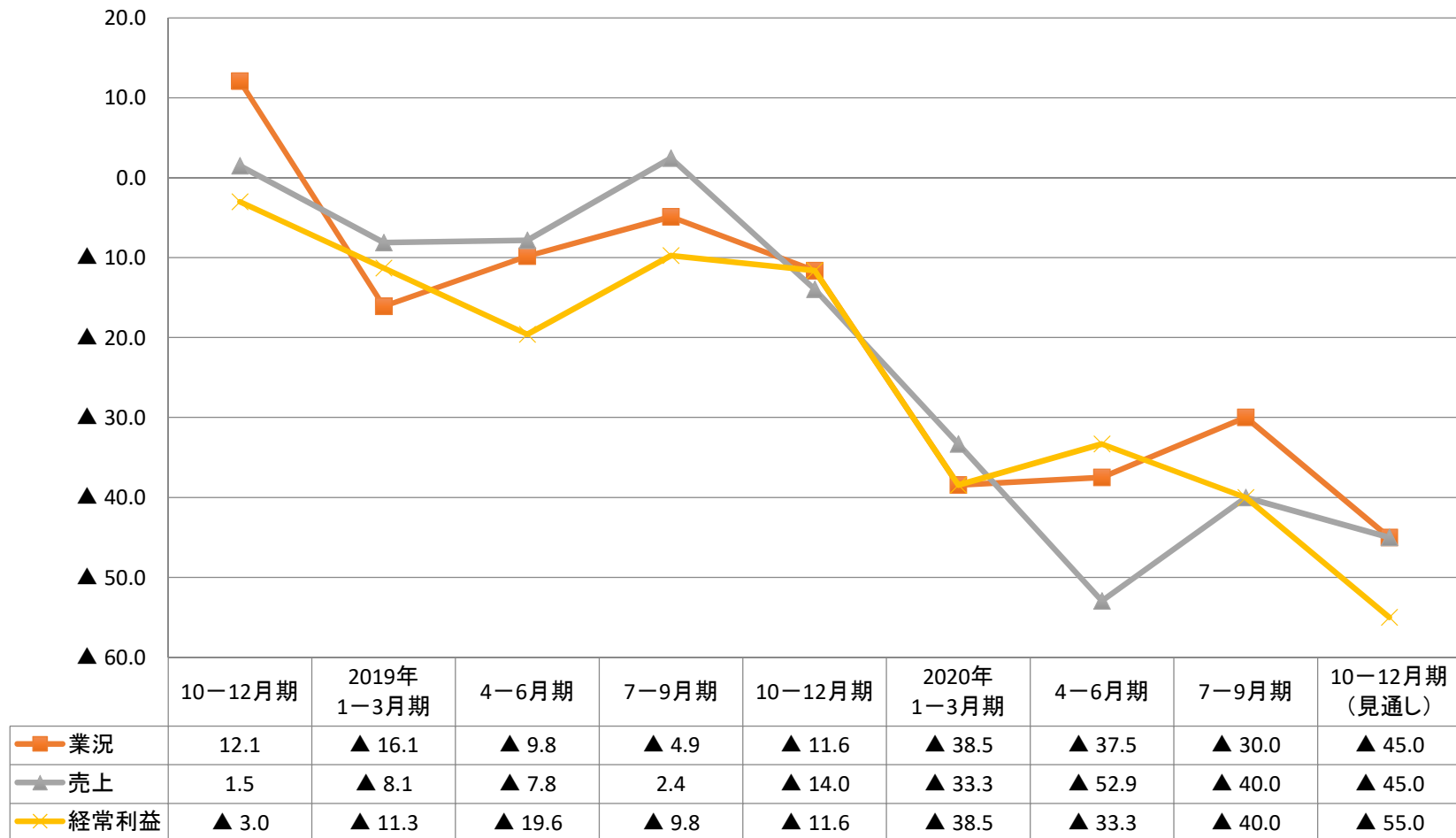


- ・在庫数量DIは▲15.2と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲23.8と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲20.7と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲23.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲54.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲47.8と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・採算の水準DIは▲22.2と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲19.8と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。



## Ⅲ.【建設業】①

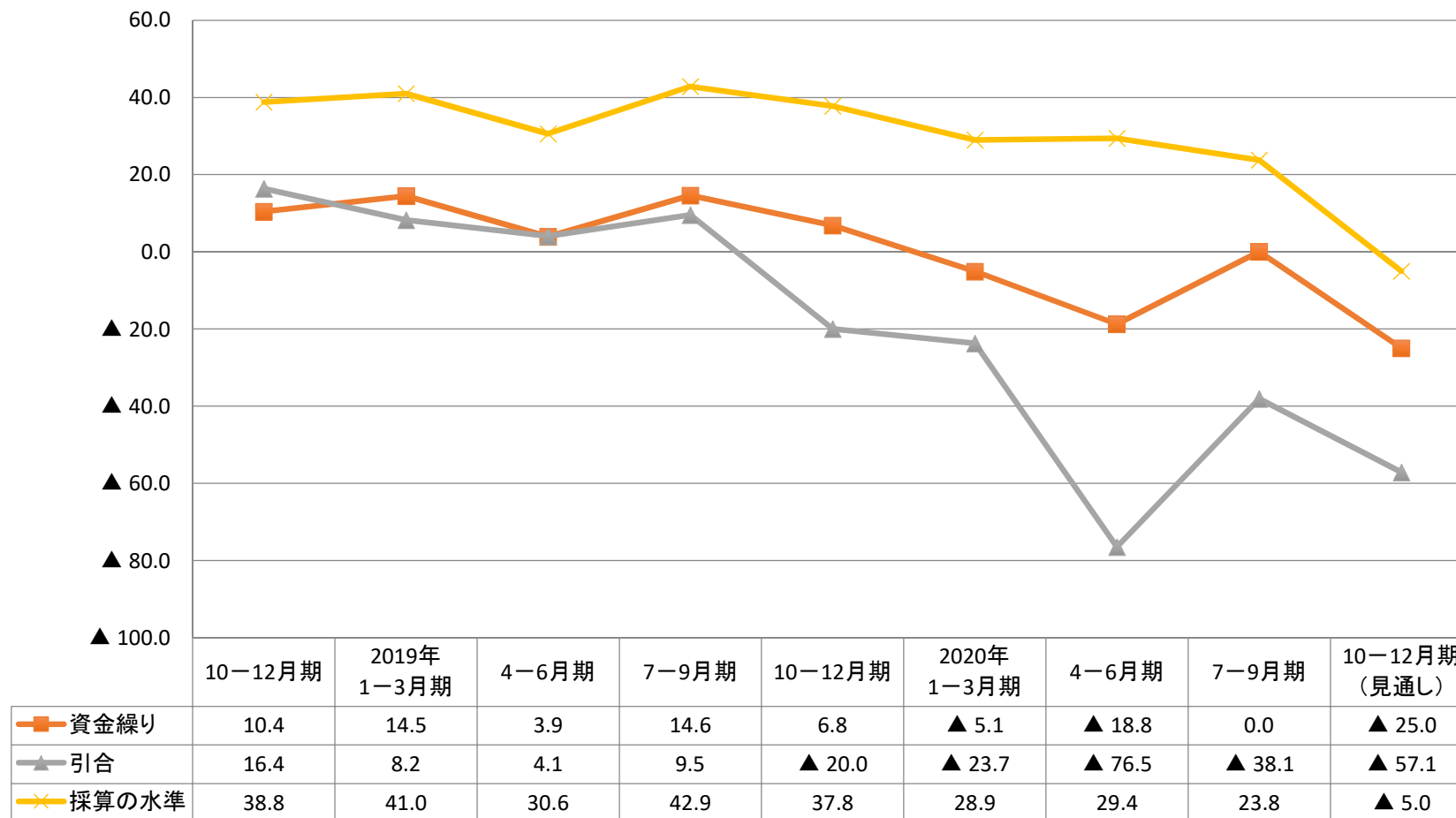
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲30.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲45.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・売上DIは▲40.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲45.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・経常利益DIは▲40.0と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲55.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

### Ⅲ.【建設業】②

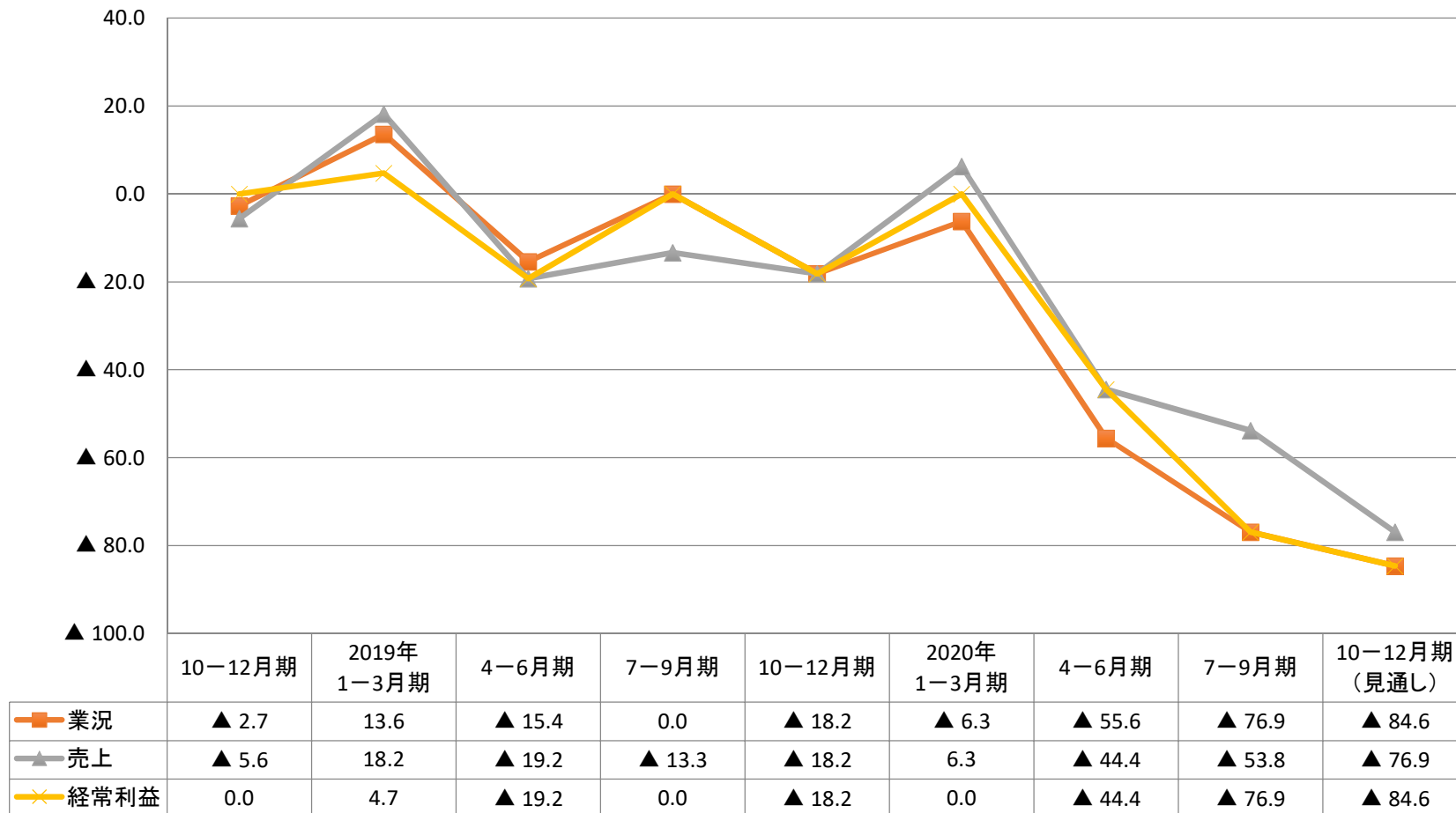
## 資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・資金繰りDIは0.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲25.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲38.1と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲57.1と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは23.8と、前期に比べプラス幅が縮小した。来期は▲5.0と、今期に比べプラスからマイナスへ転じる見通し。

## Ⅲ.【卸売業】①

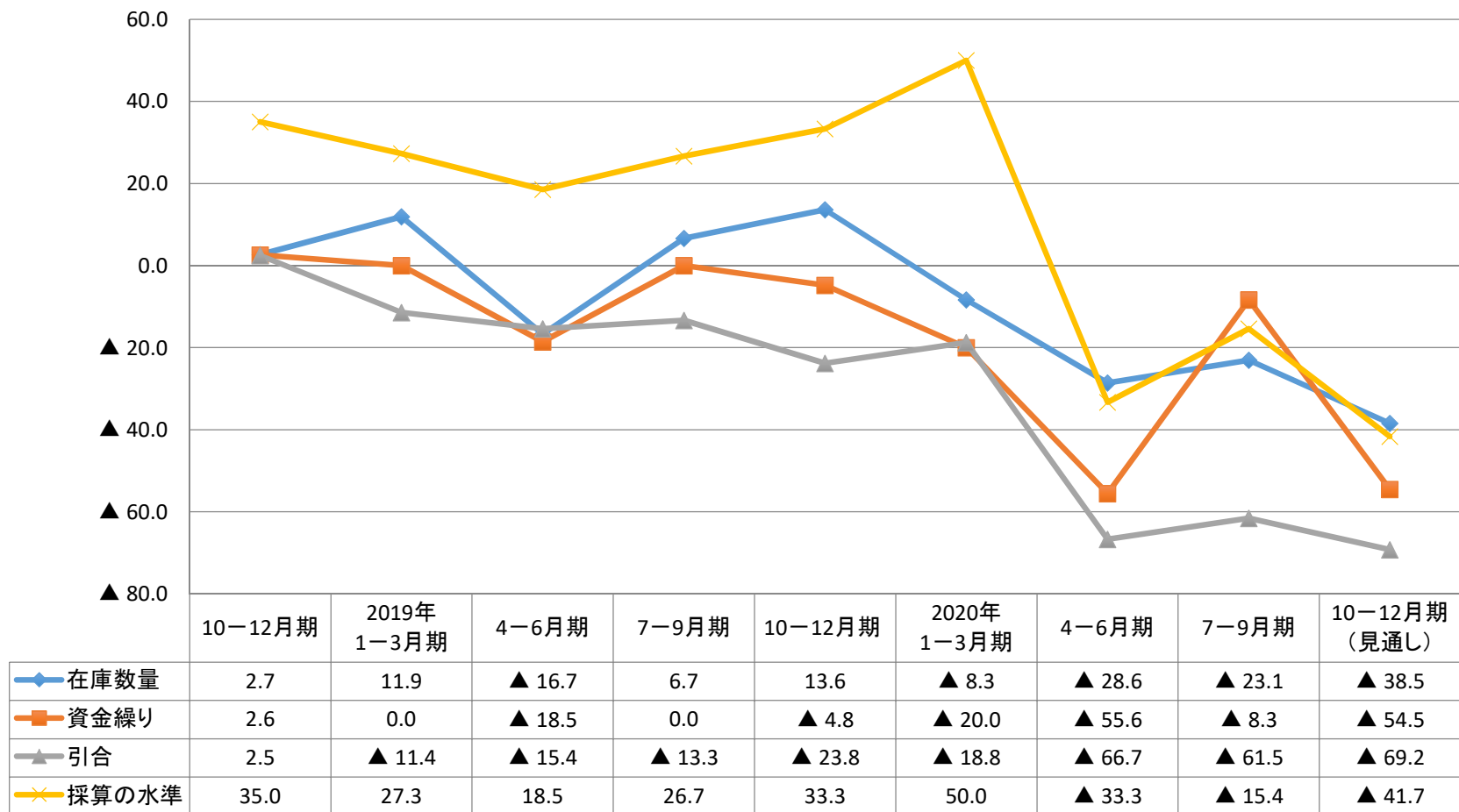
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲76.9と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲84.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・売上DIは▲53.8と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲76.9と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・経常利益DIは▲76.9と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲84.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

### Ⅲ.【卸売業】②

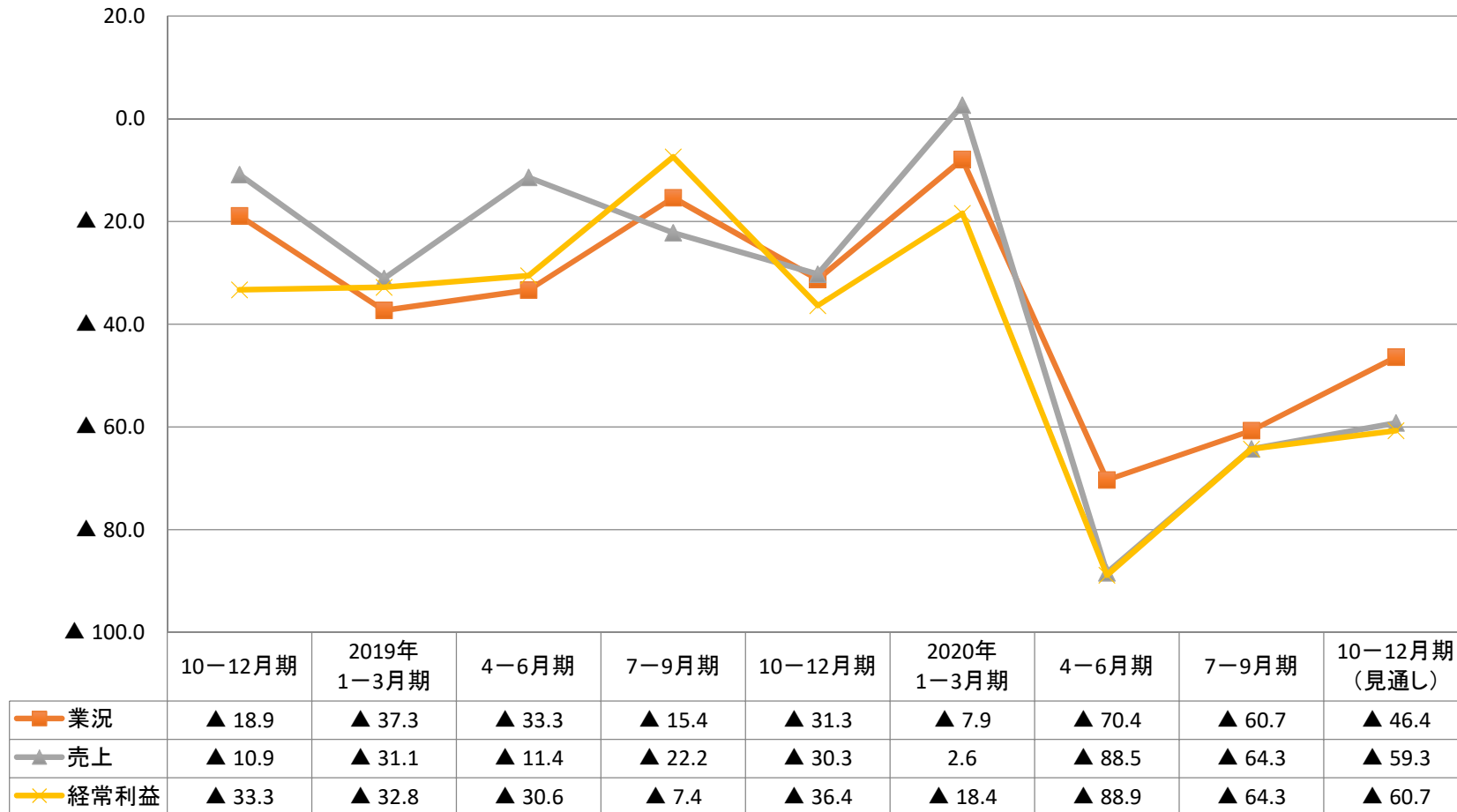
## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・在庫数量DIは▲23.1と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲38.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲8.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲54.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲61.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲69.2と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・採算の水準DIは▲15.4と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲41.7と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## Ⅲ.【小売業】①

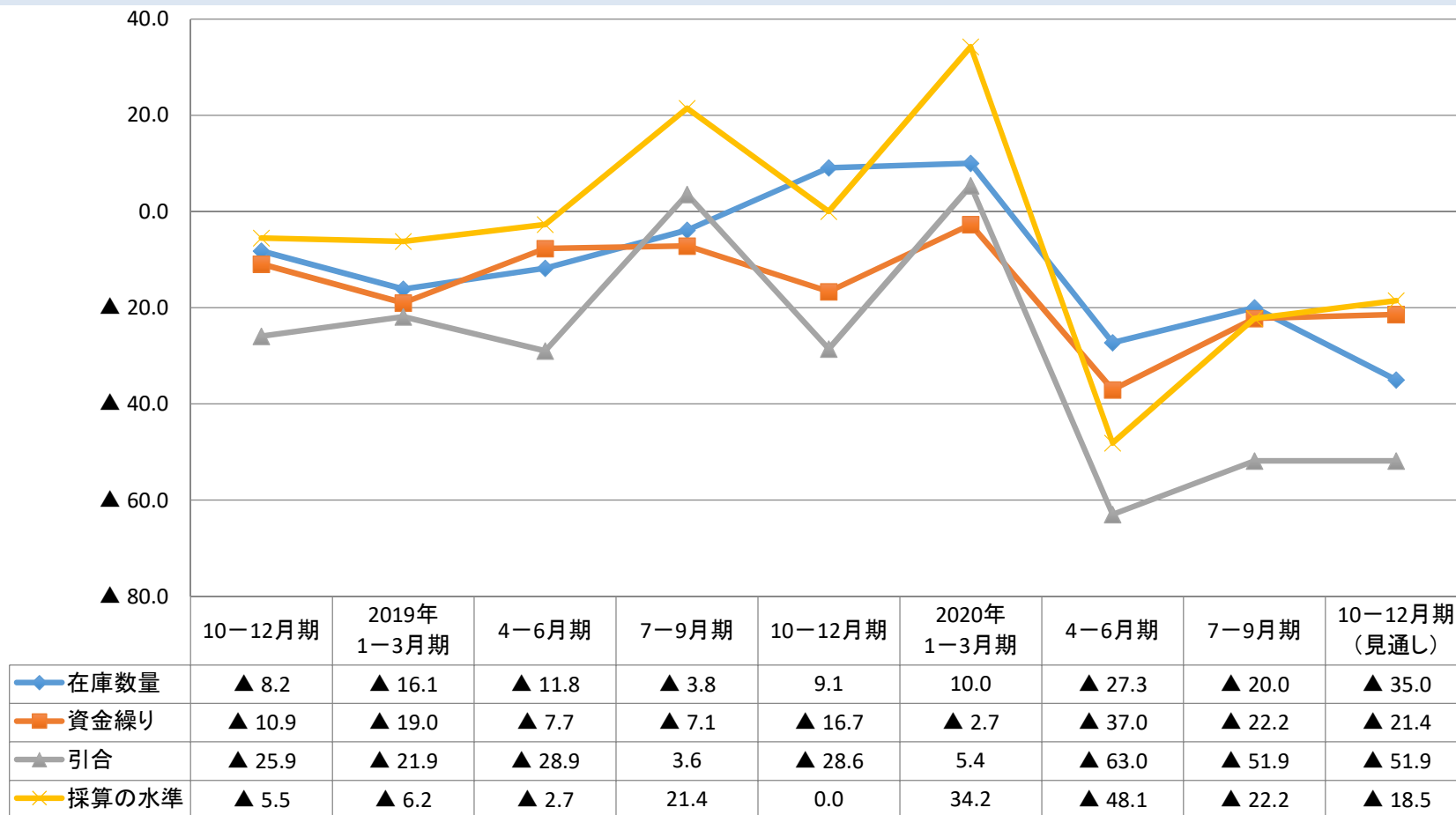
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲60.7と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲46.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲64.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲59.3と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・経常利益DIは▲64.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲60.7と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。

### Ⅲ.【小売業】②

## 在庫数量・資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し

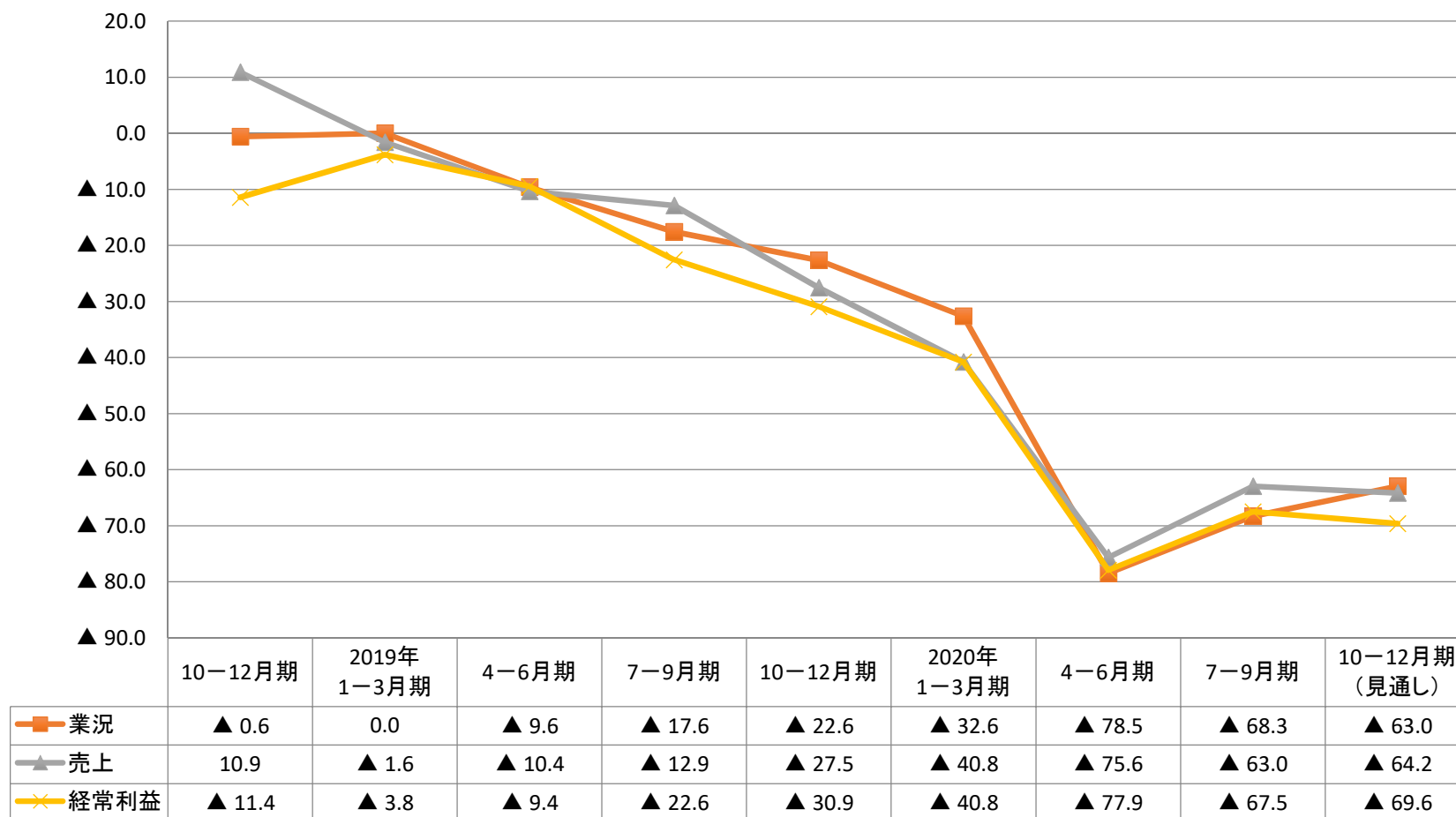


- ・在庫数量DIは▲20.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲35.0と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・資金繰りDIは▲22.2と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲21.4と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・引合DIは▲51.9と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲51.9と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・採算の水準DIは▲22.2と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲18.5と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。



## Ⅲ.【サービス業】①

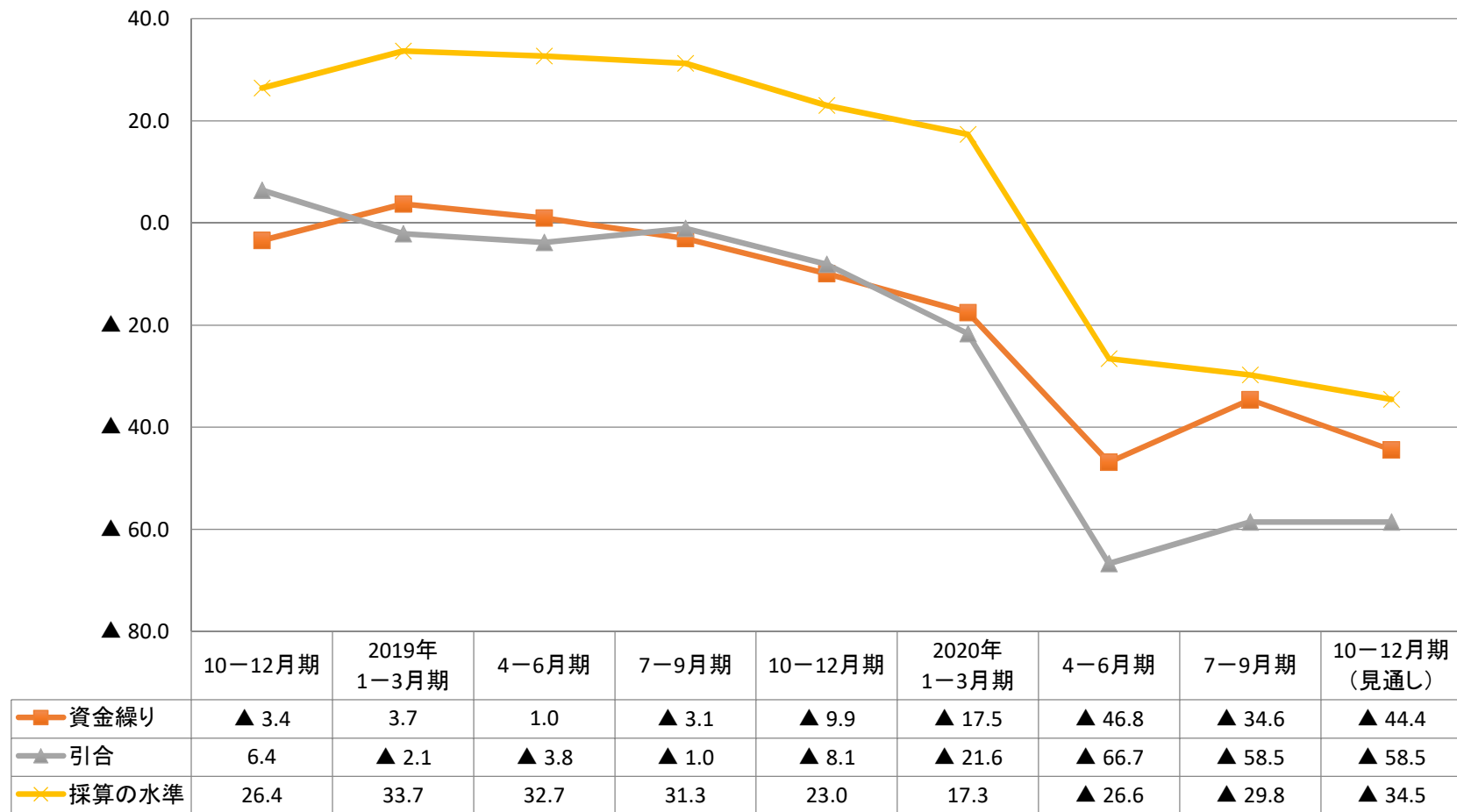
### 業況・売上・経常利益の動き(実績)と来期の見通し



- ・業況DIは▲68.3と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲63.0と、今期に比べマイナス幅が縮小する見通し。
- ・売上DIは▲63.0と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲64.2と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・経常利益DIは▲67.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲69.6と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

### Ⅲ.【サービス業】②

## 資金繰り・引合・採算の水準の動き(実績)と来期の見通し



- ・資金繰りDIは▲34.6と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲44.4と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。
- ・引合DIは▲58.5と、前期に比べマイナス幅が縮小した。来期は▲58.5と、今期に比べ変わらない見通し。
- ・採算の水準DIは▲29.8と、前期に比べマイナス幅が拡大した。来期は▲34.5と、今期に比べマイナス幅が拡大する見通し。

## IV.回答企業のコメント



### 【プラスの判断をした企業】

- ・昨年比でみると好調が続けられているが、今後悪化していくと思われる。(石油製品・石炭製品製造業)
- ・新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や外出自粛等の影響に伴い、引き続き巣ごもり需要があった。(各種商品小売業)

### 【マイナスの判断をした企業】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、特に海外からの引合や出荷に大きく影響を及ぼしている。(業務用機械器具製造業)
- ・新型コロナウイルスの影響で先進国を中心に需要が減少。(業務用機械器具製造業)
- ・今年度中は好転の兆しが見えない。(生産用機械器具製造業)
- ・受注の落ち込み幅は大きくなっており、回復の兆しがない。(金属製品製造業)
- ・新型コロナウイルス感染症による受注、生産の減少により業績悪化。マスク加工の依頼による業務で従業員の維持。(繊維工業)
- ・ホテルやレストランなど業務関連の市場が縮小している為。(飲料・たばこ・飼料製造業)
- ・新型コロナウイルスの影響による取引先企業の業況悪化で設備投資が先送り、見直しとなり売上が減少している。(設備工事業)
- ・新型コロナウイルスの影響で、各種イベントが中止になり7~9月の売り上げが大きく減少見込み。(飲食料品小売業)
- ・新型コロナウイルスの影響で店舗の来店客減少。(飲食料品小売業)
- ・新型コロナウイルスの影響で予約がキャンセルになり、業績悪化。(娯楽業)

### 【その他】

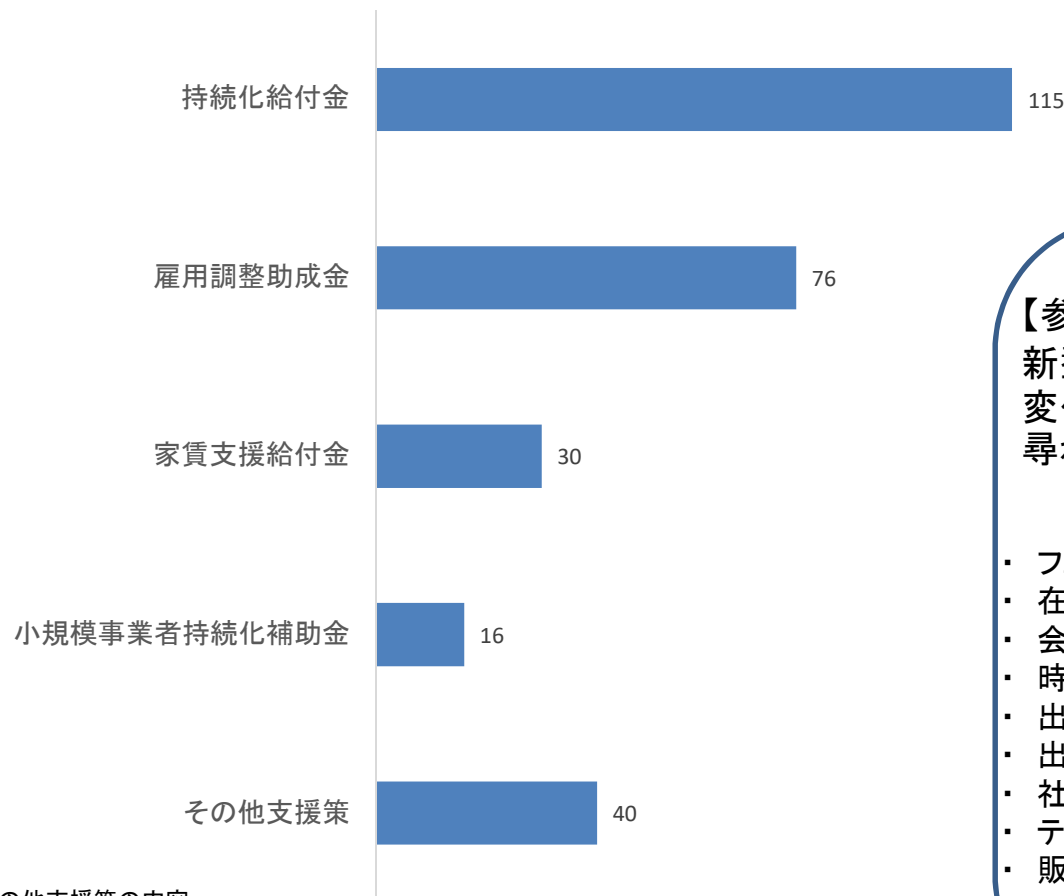
- ・コロナの影響は現状比較的軽微であるが、今後は不明。(物品賃貸業)
- ・GOTOキャンペーンが効いている(宿泊業)

# V. 新型コロナウイルス感染症に関する事業者の対応



新型コロナウイルス感染症に関する事業者支援について、申請状況を尋ねたところ(複数回答可)「持続化給付金」が115件、「雇用調整助成金」が76件となり、回答数の半数以上を占める結果となった。

Q 国の持続化給付金や家賃支援給付金等を申請されましたか。申請されたものを選択してください。(n=277)



その他支援策の内容

- ・ IT導入補助金
- ・ マスク・除菌等の助成金
- ・ 小学校休業等対策助成金
- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給補助金
- 等

## 【参考】

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく変化した、新たに取り組んだ、追加した内容を尋ねたところ次の結果となった。(自由記述)

- ・ フェイスシールドやマスクの着用、検温等感染予防対策
- ・ 在宅勤務(リモートワーク)、フレックス制の導入
- ・ 会議やイベントのWeb化
- ・ 時差出勤、休憩時間のローテーション制
- ・ 出勤日数の調整
- ・ 出張制限
- ・ 社内研修の取組
- ・ テイクアウトメニューの開発
- ・ 販路開拓、ECサイトの販売・強化